

## 令和7年度 国の予算・制度等に関する要望 実施報告

- 1 開催日時：令和6年11月1日（金）15：00～15：20
- 2 訪問先：自由民主党東京都支部連合会
- 3 参加者：梶山理事長、榎本副理事長、坂野会計責任者、高橋事務局長

対応議員：衆議院議員 平将明、高木けい、松島みどり、大空幸星、福田かおる、松本洋平、  
安藤高夫

参議院議員 生稲晃子

都議会議員 田村利光

最初に、梶山理事長から平将明政調会長に要望書が提出された。

その後、平政調会長からの挨拶、政連理事長挨拶の後、政連側の要望説明が高橋事務局長から行われ、以下の内容について意見交換を行った。

### 【意見交換】

（高木議員）

エコチューニング認定制度について、水光熱費や CO2 削減のための事業かと思うが、建築基準法で定めるビル全体の24時間換気が解消されるだけでかなり改善されるのではと考える。換気に関しては複数の省庁が法律で定めていることから改善が難しい現状だと思う。法規制とエコチューニングとの関連性についてはどのように考えているか伺いたい。

（梶山理事長）

新しいビルではシステムで24時間監視を行って対応しており、未使用の部屋のオンオフは行っているが、現時点ではエコチューニングに対しての規制となっていないのではと考える。基本的にはオーナー方針等の影響の方が大きいと思う。

（高木議員）

本来的には24時間の換気はルール化されていないが、24時間換気している業者がほとんどであると思う。この部分がエネルギー削減に繋がるのではと考えている。アイデアがあれば教えていただきたい。

（梶山理事長）

電気のように入室センサーでの連動は換気では聞いたことがないが、CO2の量によって作動するようなシステムがあれば、エネルギー効率化に繋がるのではと思う。

（松島議員）

特定2号試験について、同様な事例が介護福祉士でも過去にあった。フィリピン人従事者で会話はできるが難解な言葉では難しくなり、フリガナ付きに変更し、回答時間を長くするといった事例はある。また、運転免許では多言語に対応していて、タクシーについても

外国人従事者への配慮を行っている。つまり、厚生労働省にアクションを起こせば対応はしてもらえると思う。

専門的な内容や文言については、ビルクリーニング特定 2 号の従事者が比較的簡単な作業に従事するのであれば、試験とギャップがあるのではと思うが、登用される人はどのような業務に従事する人なのか。

(高橋事務局長)

基本的には清掃業だが、どちらかというとなマネジメントを行う清掃リーダーとなる。マネジメント要素が試験にあり、その箇所の日本語が難解であるとの話もあるので、フリガナだけでも改善されるのではと考える。

(松島議員)

チームリーダーの場合、例えばベトナム人のリーダーはベトナム人だけのチームなのか。日本人も含めたチームとなるのか。

(梶山理事長)

同じ人種で束ねたほうがうまくいくが、実際は多国籍で組むことが増えている。

(松島議員)

要望は理解した。この内容は全国組織と調整の上、改めて要望いただきたい。

(平議員)

年収の壁については、自身が成長戦略として導入したが、煩雑かつ周知がされていない問題は認識している。現在、規制改革大臣として総合経済対策も一環で申請の簡略化と周知を行う予定。社会保険料はこちらで、税金は国民民主党との調整にて行うことになるだろう。

先ほどの日本語の問題については、以前もインドネシアの看護師の導入で失敗し、人材がドイツに流れたこともあった。今は AI も発達しているので、読み書きについては持ち込み可のテストで行っていいのではと考えている。これもデジタル大臣・規制改革大臣として横断的に厚生労働省に検討させたい。

